

輝けきくち

青少年育成推進員だより

第11回菊池ふるさとかるた大会

12月1日に菊池市文化会館で開催しました。市内の小学校から36チーム、132人の参加があり、熱気あふれる大会となりました。アンケートでは▼学級でも多くの子どもがかるたを楽しむ、社会の授業につながった▼ふるさとを大事にしようという心情を育んでいた▼集中力の高さに驚いたーなどの声がありました。



素早い動きでかるたに手を伸ばす参加児童

大会は多くの市民ボランティアが運営。菊池高と菊池女子高からも6人が参加しました。生徒は「テスト期間中でしたが思い切って参加しました。審判講習会は真剣ながらも和気あいあいと、本番は緊張したけれど選手と同じくらい楽しめました。また来年も参加したいです」と笑顔で話していました。

【大会結果】

- ◆高学年の部
 - 優勝：泗水東小A
 - 2位：旭志小A
 - 3位：泗水東小B
- ◆低学年の部
 - 優勝：泗水東小A
 - 2位：旭志小A
 - 3位：泗水西小A



2部門優勝の泗水東小チーム「史跡を巡ったり家族と一緒に練習したりして、楽しみながら頑張りました。菊池の良さも見えて良かったです」

戸崎校区青少年健全育成推進協議会の活動

12月15日、戸崎小で登校時のあいさつ運動に参加しました。正門では、子どもたちが一列に並んで一礼します。こちらも自然と笑顔になり「おはよう」と声を返します。とても清々しい一日の始まりでした。

正午からは校区青少年育成部主催の餅つき大会を実施。児童たちの歓声が校庭に響き渡り、準備した30キの餅米は、地域の協力を得てあっという間につき終わりました。

（推進員 宮川淳一）



正門で一礼し元気な声であいさつする児童たち



地域の人の指導を受けながら、息を合わせて餅をつきました

長年の功績を称えて～青少年育成県民会議表彰者の言葉～

思い起こせば、推進員として参画したのは4市町村の合併がなされた後でした。ふるさとかるた作成に関わり、かるた大会や史跡巡りの礎ができる過程を目の当たりにしました。今後も市の宝である青少年の育成のために、推進員の皆さまのご活躍とご発展をお祈りします。



推進員 江藤継喜（板井）

菊池のふるさとかるたに出会い、史跡巡りを通して、菊池の素晴らしい所をたくさん知りました。ぜひ多くの子どもたちや大人の皆さんにも伝えていきたいですね。先進地視察では、視野が広がり、学校訪問では地域住民としての思いを新たにしました。多くの出会いに感謝しています。



推進員 柱松香澄（雪野）

第9回 菊池ふるさとかるた



良田うるおす 迫間・合志に 菊池川



迫間川・合志川・菊池川

菊池川は全長61・2キで、合志川や迫間川など65の支流が流れ込む一級河川です。上流には竜門ダムがあり、県内最多の水田をかんがいし、有明海に注いでいます。かつては東北の舟運の動脈であり、流域の米作りの歴史は二千年と古く、日本遺産にも登録されています。



ふるさとかるた史跡めぐり（竜門ダム）